

OUTLOOK:

Assessment:

バグダッド日誌(5月10日)

○業務支援隊長バグダッド訪問

5月8日～9日にかけて業務支援隊長、政策アドバイザー、カウンセラー等にバグダッドを訪問して頂いた。我々がバグダッドで業務を開始して以来、サマーワから初めての訪問であり、バグダッド連絡班全員で「まごころ」を合い言葉に受け入れ準備を実施した。

訪問当日は、

ことと、ローテーションの真っ最中のため表敬先を確保できずに苦労した。ねばり強く交渉した結果4ヶ所の表敬先を確保できた。日本の将来作戦は、多国籍軍司令部では注目の的であり、非常に内容のある懇談ができたものと感じた。

今回訪問受け入れにあたり、表敬先と同時に宿泊・移動について、なかなか苦労した。

宿泊については、現在バグダッド所在する基地改編に伴い、宿泊施設が不足しておりキャンプ・ヴィクトリーでは新たに着任した多国籍軍の尉官クラスは、宿泊コンテナ待ちで約2ヶ月ほど天幕で待たなければならない状況である。まさか隊長に天幕に宿泊して頂くわけにもいかず、我々の勤務する日本隊コンテナを空けようとも考えた。私たちが困っているのを察してくれたコアリション・オペレーション部副部長の鶴の一声で通常将官訪問の対応をしている部署が宿泊場所を確保してくれた。

移動については、サマーワから来訪者に来て頂くには、まずクウェートに移動して、それから英軍C-130でバグダッドへ移動するという、非常に非効率的な移動手段しかない。サマーワからバグダッドまで直線距離で250Km程度だが、移動距離は800kmにもなる。またであり、ものすごく時間距離が必要となる。サマーワでの業務多忙中にも拘わらず、バグダッドまで足を運び、我々を激励して頂いたことに本当に感謝している。

さまざまな不便はありますが、訪問者大歓迎であり、どんどんバグダッドを見に来て頂きたいと思います。